



平成 22 年 9 月 21 日

各 位

上場会社名 株式会社TOKAI
(登記社名 株式会社ザ・トーカイ)
代表者 代表取締役社長 西郷 正男
(コード番号 8134 東証・名証各第1部)
問合せ先責任者 常務執行役員総務部長 望月 廣
(TEL 054-254-8181)

当社子会社による株式取得に係る基本合意書締結に関するお知らせ

当社子会社の株式会社ビック東海（以下、「ビック東海」）は、平成 22 年 9 月 21 日開催の取締役会において、株式会社ドリームウェーブ静岡（以下、「ドリームウェーブ静岡」）の株式を取得することに関し、鈴与ホールディングス株式会社（以下、「鈴与ホールディングス」）と基本合意書を締結し、今後本件の協議を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本合意書締結の理由

ビック東海は、成長戦略の一環として、平成 19 年度から平成 21 年度までを中期 3 ケ年計画における顧客基盤の拡充期として位置付け、以降の高い持続的成長を目指して取り組んでまいりました。なかでも、CATV 事業におきましては、お客様のアクセス回線まで全てを自社の光回線で接続したインターネットサービス「CATV-FTTH」への戦略的投資を実施し、概ね計画どおり進捗しております。また、同時にケーブルテレビ事業者への資本参加による事業領域の拡大を進めており、その一環として静岡県静岡市所在のドリームウェーブ静岡の株式取得について同社の主要株主である鈴与ホールディングス及び鈴与グループ各社と協議を開始することといたしました。この度ビック東海が株式取得を検討している、ドリームウェーブ静岡は、ビック東海の営業エリアと隣接している静岡市を事業基盤としております。ビック東海が静岡市にエリア拡大をすることにより静岡県東部地区から中部地区に至るまでの広域にわたる事業展開が実現し、多くの相乗効果が期待できるものと考えております。ビック東海は、本件の実施により経営資源の強化を進め、長期的な収益力の向上を図り、次代に繋がる持続的成長を目指し、一層の地域社会の発展に貢献してまいります。

2. 株式会社ドリームウェーブ静岡の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 商号 | 株式会社ドリームウェーブ静岡 |
| (2) 本店所在地 | 静岡県静岡市清水区中之郷二丁目 1 番 5 号 |
| (3) 代表者 | 鈴木 與平 (代表取締役会長)
中田 守 (代表取締役社長) |
| (4) 事業内容 | ケーブルテレビジョン事業、電気通信事業 |
| (5) 対象世帯数 | 187,704 世帯
(2009 年 10 月 15 日発行のケーブル年鑑による) |

(6) 放送加入世帯数	45,047 世帯 (2009年10月15日発行のケーブル年鑑による)
(7) 資本金	684 百万円
(8) 設立年月日	昭和 59 年 8 月 13 日
(9) 決算期	3 月
(10) 従業員数	30 名 (平成 22 年 3 月 31 日現在)
(11) 発行済株式総数	58,200 株
(12) 大株主及び持株比率	鈴与ホールディングス株式会社 28.73% 静岡鉄道株式会社 8.00% 静岡放送株式会社 7.03% 鈴与商事株式会社 6.15% 株式会社静岡新聞社 5.89% 株式会社テレビ静岡 5.89% 株式会社静岡朝日テレビ 5.37%

※鈴与ホールディングス株式会社他鈴与グループ
15 社で 44.82%を保有しております。

(13) 当社と当該会社との関係 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

(14) 最近事業年度における業績の動向

単位：千円

	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期
売上高	1,769,021	1,894,487	1,827,224
営業利益	25,472	92,104	38,884
経常利益	20,959	86,039	30,225
当期純利益	23,110	49,092	38,335
総資産	2,057,006	2,117,012	1,898,228
純資産	616,769	665,862	704,198
1 株当たり純資産 (円)	10,597	11,441	12,100
1 株当たり当期純利益 (円)	397	843	658

3. 基本合意書締結先の概要

(1) 商号	鈴与ホールディングス株式会社
(2) 本店所在地	静岡県静岡市清水区入船町 11 番 1 号
(3) 代表者	鈴木 與平 (代表取締役会長兼社長)
(4) 事業内容	金融業、コンサルティング業
(5) 資本金	10 百万円
(6) 設立年月日	平成 12 年 12 月 27 日
(7) 決算期	8 月

(8) 当社と当該会社との関係 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 取得予定株式数、取得予定価額及び取得前後の所有株式の状況

ビック東海の取得割合が発行済株式総数の67%以上となる株式数を取得する予定ですが、現在、株主別の内訳等を協議中であります。取得株式数等の状況は詳細が確定次第お知らせいたします。

5. 日程等

今後は、両社にて友好的な関係をもって本件成立のための諸事項に関して協議を行い、総ての条件に関し合意可能な段階で最終契約を締結する予定であります。

なお、スケジュールは以下のとおりであり、具体的な日程に関しましては確定次第お知らせいたします。

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) 平成22年9月21日 | 基本合意書締結 |
| (2) 平成22年11月中(予定) | 株式譲渡契約締結 |

5. 今後の業績に与える影響

本件による当社グループの連結業績に与える影響は、今後の協議の結果によって決定してまいりますので、影響額が判明次第速やかにお知らせいたします。

以上

平成 22 年 9 月 21 日

各位

株式会社TOKAI

代表取締役会長兼CEO 嶋田 勝彦

株式会社ドリームウェーブ静岡の株式取得について

本日開催した株式会社TOKAI及びグループ会社である株式会社ビック東海（以下、ビック東海という）の取締役会において、鈴与ホールディングス株式会社及び鈴与グループ各社の保有する株式会社ドリームウェーブ静岡（以下、ドリームウェーブという）の株式（注：鈴与グループ保有合計 26,087 株、持株比率 44.82%）をビック東海が取得することに関し、鈴与ホールディングス株式会社と基本合意書を締結し、本件成立のための諸事項に関して協議を開始することを決議しました。

今回の株式取得は、静岡県内におけるCATV事業の一層の発展・拡大のための施策として位置づけられるものであり、前向きに協議・検討を進めた結果、本日鈴与グループと合意に達しました。

これより、ビック東海が、鈴与グループと価額などの諸条件を折衝するとともに、デューデリジェンスなどの手続きを経て正式契約に至るよう鋭意進めてまいります。本日はまず、鈴与ホールディングス株式会社との間で正式に基本合意書を締結し、上記の協議が開始されたことをご報告いたします。

協議成立後、鈴与グループと協力して他のドリームウェーブ株主からの株式取得を進め、最終的に発行済株式総数の 67%以上を保有しビック東海の子会社とする方針です。

TOKAIグループは、「エネルギー&コミュニケーション」をスローガンに掲げ、LPガス、都市ガスなどのエネルギー事業を柱とともにCATV、ブロードバンド、モバイルなどの情報通信事業をもう一方の柱として事業展開を行っております。

このうち、CATV事業は、TOKAIグループが保有する首都圏から関西圏まで 5,000 キロメートルの光ファイバーネットワークをバックボーンとしており、これに加え、各家庭までの光化（FTTH化）を進め高品質な放送・超高速インターネット・光電話の各サービスを提供できる強みを有しております。

今回の株式取得は、昨年 11 月のエルシーブイ株式会社及び株式会社倉敷ケーブルテレビ 2 社の子会社化に続くCATV事業の事業領域拡大の一環であります。TOKAIグループの静岡県におけるCATV事業は、ドリームウェーブのCATV事業エリアである静岡市を挟んで、県東部地区と県中部地区の一部（焼津、藤枝、島田地区）において展開してまいりました。県都静岡市への進出、県中部地区への本格的事業参入により、県東部地区から県中部地区に至る

広域の事業展開が図られるとともに、CATV事業に係る経営資源の一層の効率化に資するなど、今回の株式取得は、事業戦略上大きなメリットがあります。

本件が予定どおり進捗した後は、TOKAIグループのCATV事業における事業基盤を活かした高品質なサービスの提供により、静岡市における新規顧客の積極的な獲得を進めていくとともに、一層の地域社会の発展に貢献してまいります。

TOKAIグループは、強みを有する事業への積極投資と不採算事業の迅速な整理を通じて企業力の向上を図る「選択と集中」を念頭に置いた経営を進めており、本件はその一環として、長期的な収益力の向上を図り、次代に繋がる持続的成長を目指すものであります。

また、今後につきましても、引続き鈴与グループとの友好的な関係を維持するとともに、両グループに共通する様々な領域における相乗効果の創出を図り、TOKAIグループの成長に繋げてまいります。

以上